



第 267 回つくば分子生命科学セミナー

TSUKUBA MOLECULAR LIFE SCIENCE SEMINAR

演題： アフリカツメガエル初期胚における
 外胚葉決定の分子機構

演者： 笹井 紀明 先生

理化学研究所 発生・再生科学総合研究センター
細胞分化・器官発生研究グループ

日時：2008 年 7 月 15 日（火） 13:45-14:45

会場：筑波大学 医学学系棟 4B482

要旨：脊椎動物の初期発生過程において、受精直後の未分化な細胞集団は、まず、外胚葉、中胚葉、内胚葉へと個性づけられます。このうち、中胚葉や内胚葉への分化に関わる因子は多数が同定され、機能解析が進められていますが、外胚葉への分化制御機構については不明な点が多く残されています。今回私たちは、アフリカツメガエル初期胚の予定外胚葉領域に発現する核内因子XFDLを単離し、その機能解析を行いました。その結果、XFDLは、中胚葉分化の抑制と外胚葉分化の促進に関して必要十分な働きをしていることが明らかになりました。今回のセミナーでは、XFDLによる外胚葉決定の詳細なメカニズムのほか、哺乳動物の外胚葉決定研究への応用の可能性も併せて議論したいと思います。

笹井紀明先生らの本研究は、Cell誌に掲載された非常に興味深い内容です（Cell 133, 878-890, 2008）。多数の皆様のご来場をお待ちしております。

連絡先：人間総合科学研究科・若手イニシアティブ 高崎真美 （内線 3290）

【若手イニシアティブ・筑波分子医学協会（TSMM）共催】

セミナー担当 筑波大学基礎医学系 塩見健輔